

7月東京盆出荷向け黄色小ギク新品種候補「ひたち 24 号」(仮称)の育成

[要約]

小ギク「ひたち 24 号」は季咲きで7月上旬から下旬に開花する黄色系統で、7月東京盆出荷向けに適する。花色がよく、花と葉のバランスに優れるため市場性評価が高く、作りやすさや茎葉色が優れ、白さび病発生が少ないため生産者評価が高い。

茨城県農業総合センター生物工学研究所
" 園芸研究所

令和5年度

成 果
区 分

普 及

1. 背景・ねらい

茨城県の小ギクは、県内の切り花品目では産出額が第1位、全国にも栽培面積が第2位、出荷量が第4位(いずれも R1)のシェアを占める重要な花き品目である。生産現場からは、茨城県の気候で物日出荷でき、白さび病の発生が少ない品種育成が求められており、これらの要望を満たす県オリジナル品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 平成30年に「常陸サマーライト」の自然交配種子の実生個体から選抜した系統である。
- 2) 花色はRHSカラーチャートで9Aの黄色である(図1、表1)。
- 3) 季咲き栽培での開花時期は7月上旬から下旬であり、「常陸サマーライト」と比較して開花時期が3日程度遅く、より7月東京盆出荷に適する(表1)。
- 4) 「常陸サマーライト」と比較して、切花長、切り花重は同等である(表1)。
- 5) 市場性評価では、花色・葉色・ボリューム感・フラワーフォーメーション(FF)・総合評価において、回答者の8割以上が「良い」または「やや良い」と評価している(図2)。また、「取扱い(品種化)要望」の項目に回答した18名が取扱い(品種化)を希望している(データ略)。
- 6) 現地適応性試験では、フォーメーションが良く、総合的にも高く評価され、生産者5名中4名が導入を希望している(表2)。また、現地試験担当者は「高温遅延しにくい」、「下葉枯れが多い年だが、この系統は下葉枯れが少なめ」等の評価をしている。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 圃場の水はけが悪い場合や冠水した場合、下葉枯れや生育不良が発生することがある。
- 2) 令和6年に品種登録出願予定である。
- 3) 種苗は、(公社)茨城県農林振興公社において令和6年秋以降に配布される予定である。
- 4) 普及対象：県内的小ギク主要産地

A close-up photograph of a bouquet of bright yellow chrysanthemum flowers. The flowers are in various stages of bloom, with some fully open and others as buds. The green leaves are visible at the base of the stems. The background is a plain, light-colored surface.

表1 小ギク「ひたち24号」所内特性調査結果(R1~R5)

※笠間市安居における調査結果. 3月下旬定植

2) **FF** : フラワーフォーメーション (右図)

3) 白さび病発生程度は0～5(0:発病なし、1:高品質で出荷可能な程度(秀品)、2:中程度の品質で出荷可能な程度(優品)、3:低品質だが出荷可能な程度(良品)、4:商品性なし(出荷不可)、5:上位葉から下位葉にかけて発病(出荷不可))の6段階で評価

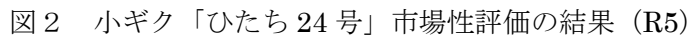
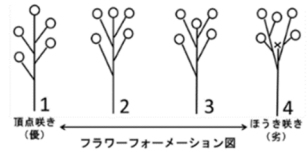


表2 小ギク「ひたち24号」現地適応性試験における生産者評価 (R5)

※回答者は生産者 5 名

1) 新品種育成普及促進事業・平成 30 年度～令和 5 年度・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
2) 新品種育成普及促進事業・令和 4 年度～5 年度・園芸研究所花き研究室